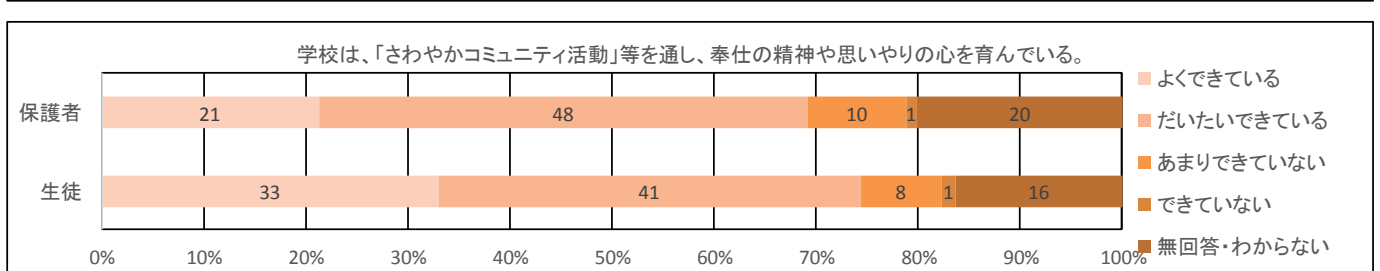
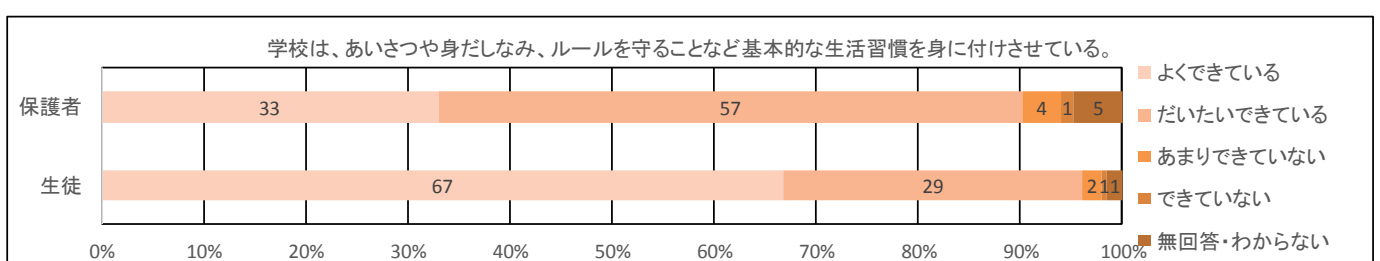
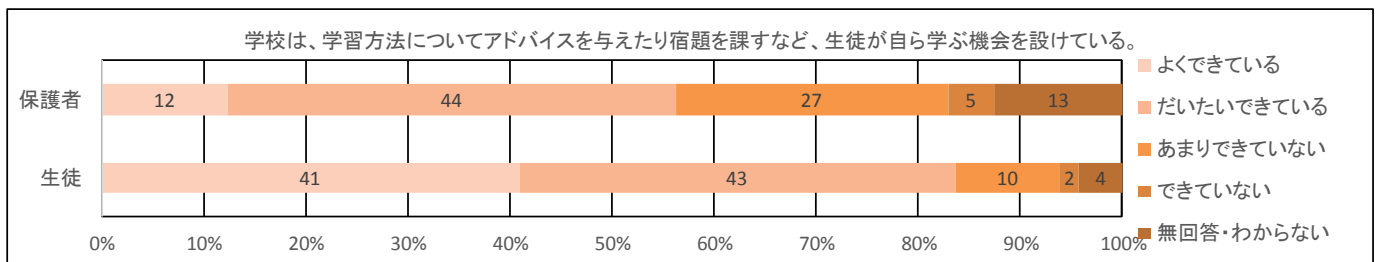
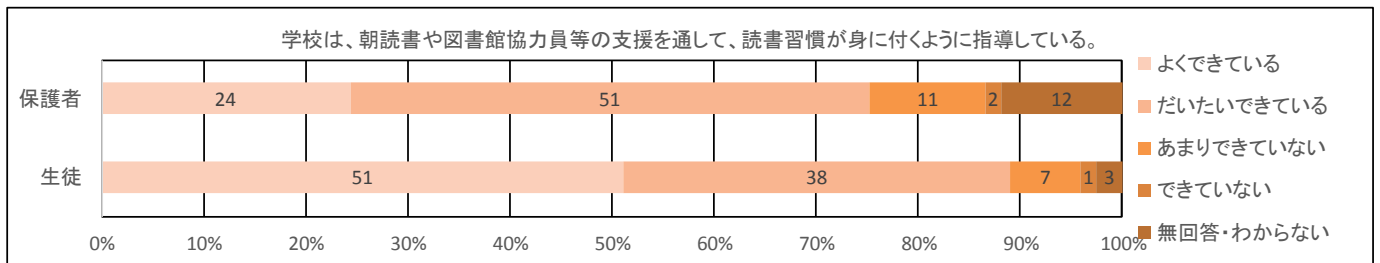
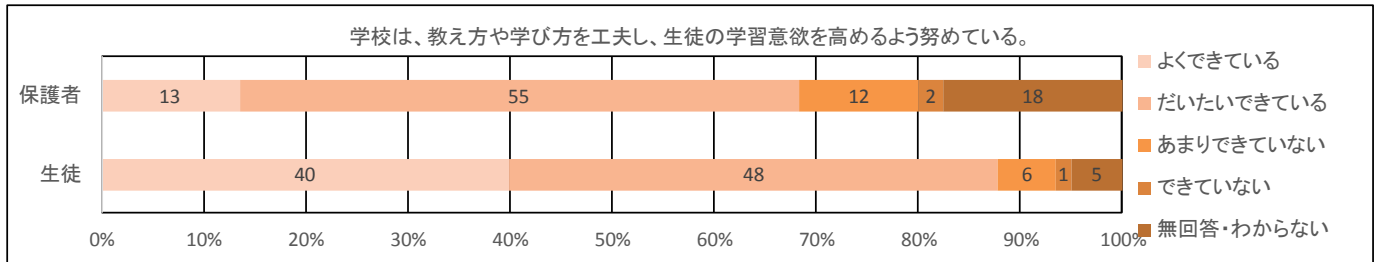


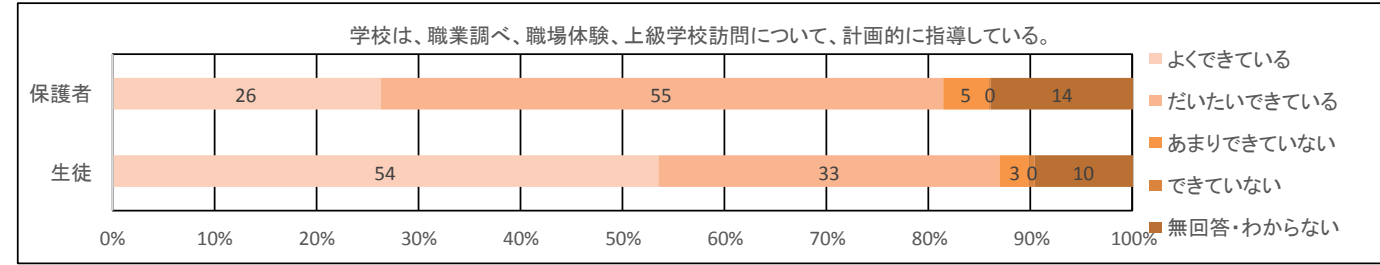
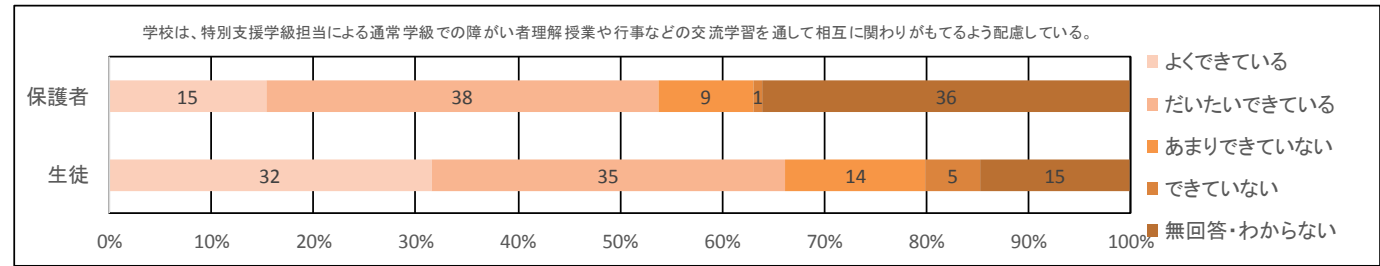
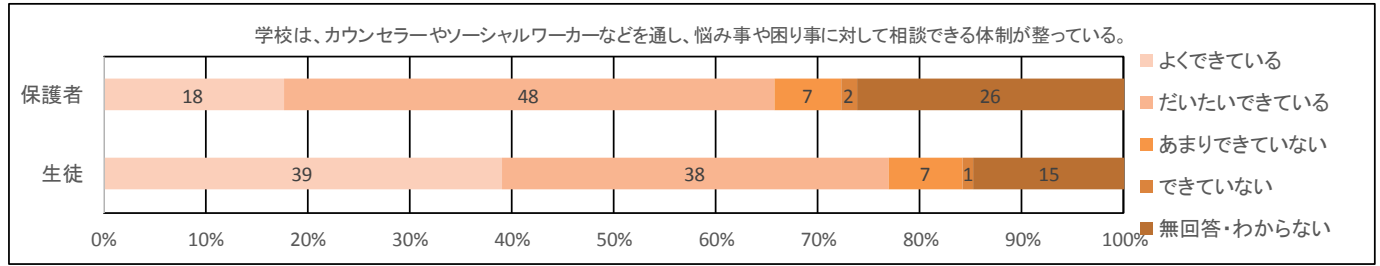
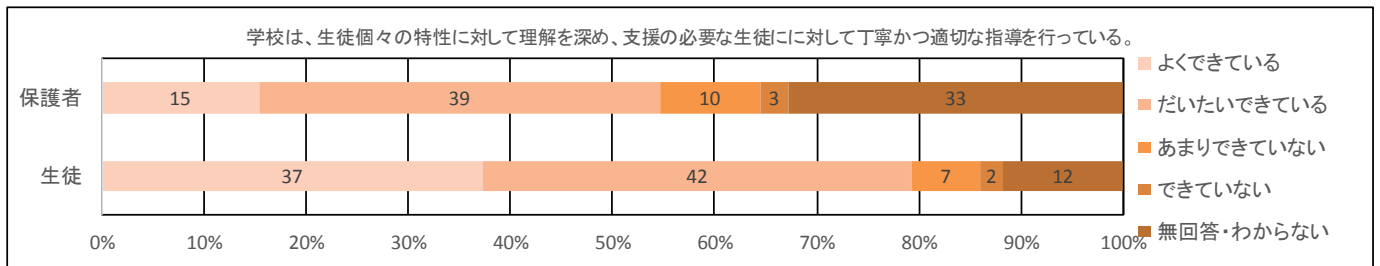
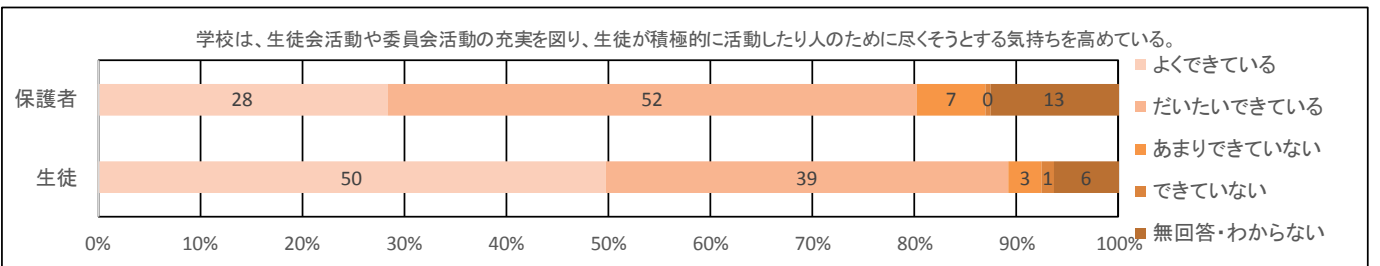
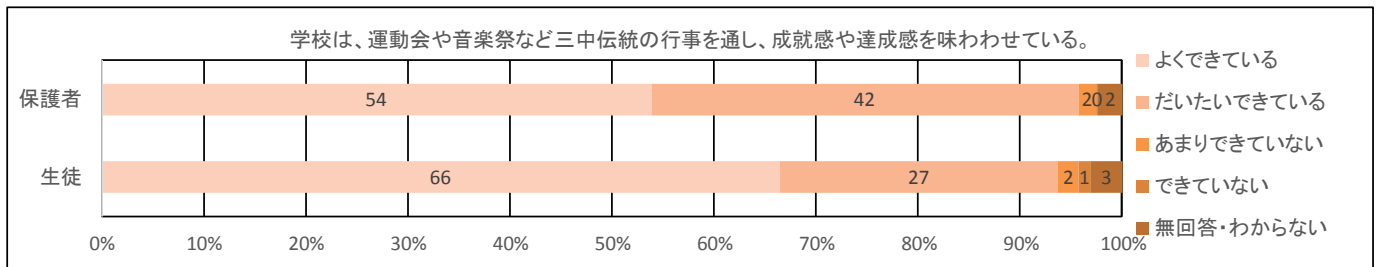
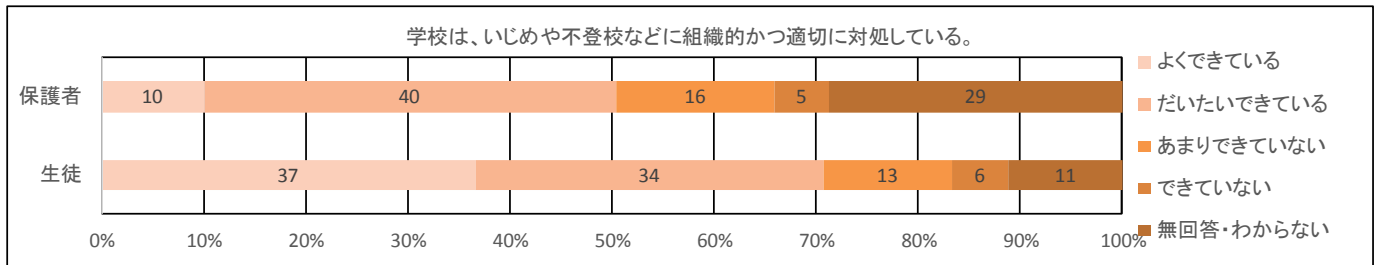
保護者各位

小平市立小平第三中学校
校長 峯岸 貴彦

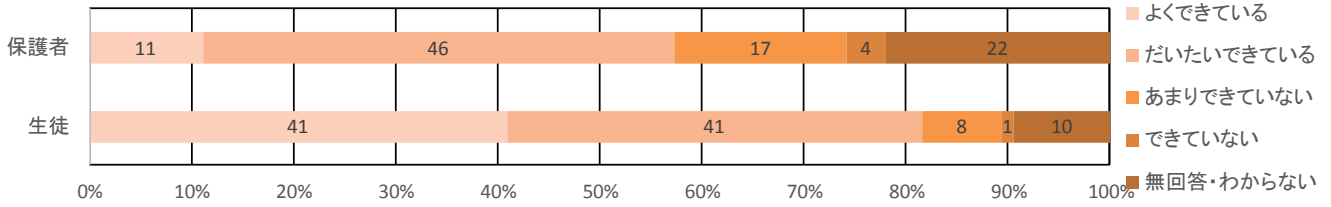
平成30年度教育活動についてのアンケート集計結果

春の陽気が待ち遠しい今日この頃、保護者の皆様には、ますますご健勝のことと存じます。このたびは教育活動についてのアンケートへの回答ありがとうございました。同じ項目で実施した生徒のアンケートの集計結果も併せ、グラフ化したものを以下にお知らせいたします。

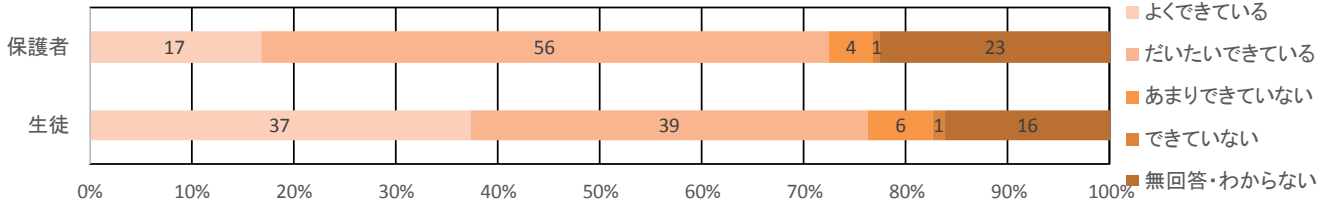




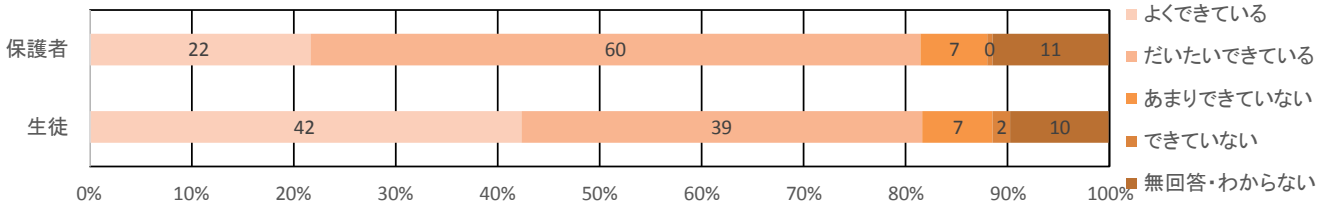
学校は、生徒に夢や希望をもたせ自己の将来を考えようとする態度を育てている。



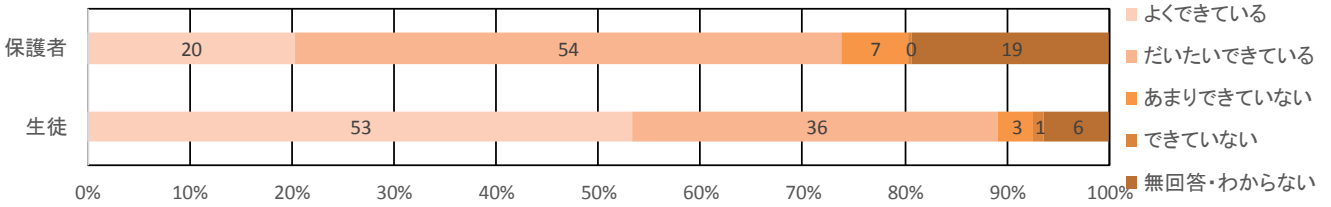
学校は、教員研修や合同陸上教室、生徒会の交流活動などを通し小・中連携教育を推進している。



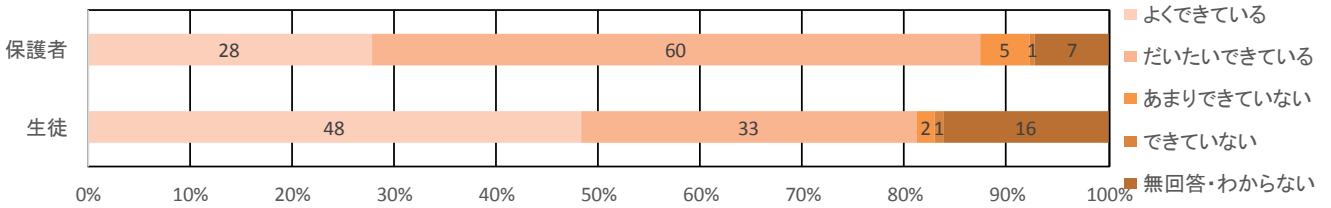
学校は、地域清掃や防災訓練などの体験学習の機会をつくり、地域社会に貢献する態度を養っている。



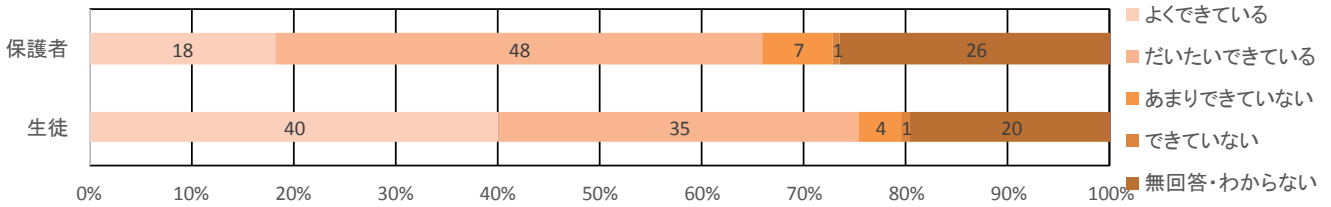
学校は、道徳や特活の授業で様々な取組を行い、道徳性や社会性を高めようとしている。



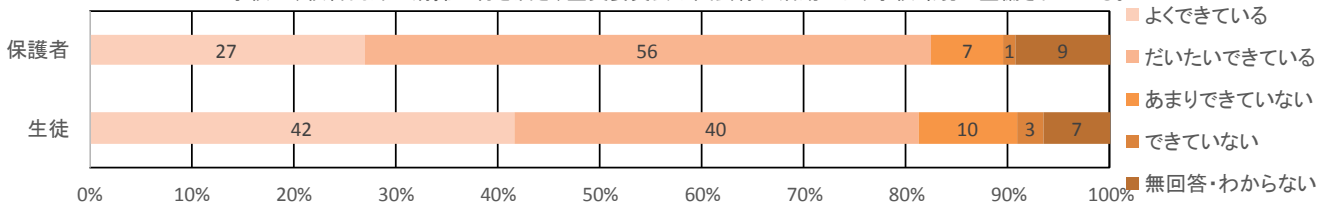
学校は、学校だより、学年だよりやホームページなどを通して学校の情報を積極的に伝えている。

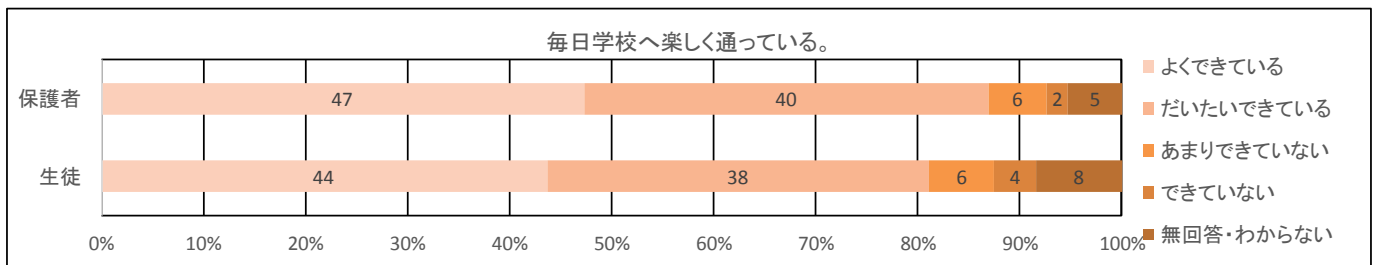
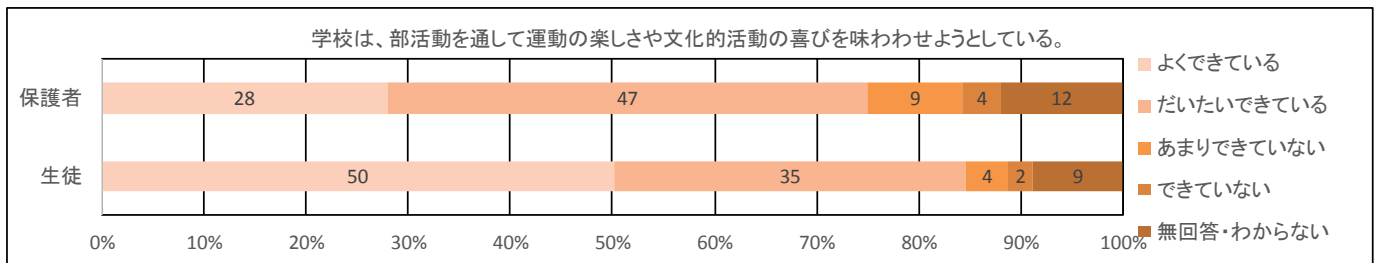


学校は、学校支援コーディネーターや学生ボランティアなど地域や外部の人材を活用している。



学校は、校舎内外の清掃が行き届き、整美委員会や園芸緑化活動により学校環境は整備されている。





まとめを終えて

これまで実施していた教育活動アンケートについて「どのような取り組みが行われているかよく分からないので回答できないが、『わからない』という選択肢がない」「設問の意味がわかりにくい」「部活動についての項目がない」などの声がありました。これらのご意見を踏まえ今年度、アンケートの設問を大幅に改訂しました。

アンケートの集計結果から、保護者と生徒を比較して、生徒のほぼすべての質問項目で「よくできている」という回答が保護者を上回っています。

項目別では、「よくできている」「だいたいできている」の肯定的回答では次の項目が高い評価を受けました。「学校は、あいさつや身だしなみ、ルールを守ることなど基本的な生活習慣を身に付けさせている」「学校は、運動会や音楽祭など三中伝統の行事を通し、成就感や達成感を味わわせている」「学校は、生徒会活動や委員会活動の充実を図り、生徒が積極的に活動し人のために尽くそうとする気持ちを高めている」「学校は、職業調べ、職場体験、上級学校訪問について、計画的に指導している」「学校は、地域清掃や防災訓練などの体験学習の機会をつくり、地域社会に貢献する態度を養っている」「学校は、学校だより、学年だよりやホームページなどを通して学校の情報を積極的に伝えている」「学校は、校舎内外の清掃が行き届き、整美委員会や園芸緑化活動により学校環境は整備されている」「毎日学校へ楽しく通っている」の各項目です。特に、「学校は、運動会や音楽祭など三中伝統の行事を通し、成就感や達成感を味わわせている」では、生徒、保護者ともに肯定的回答が90%以上と高い評価をいただきました。また、「毎日学校へ楽しく通っている」の肯定的回答が生徒、保護者ともに80%を超えたことから本校の教育活動に一定の評価をいただけたと考えています。

その一方で、「学校は、学習方法についてアドバイスを与え宿題を課するなど、生徒が自ら学ぶ機会を設けている」について肯定的回答が保護者56%、生徒84%と大きな開きがありました。また、「学校は生徒個々の特性に対して理解を深め、支援の必要な生徒に対して丁寧かつ適切な指導を行っている」「学校は、いじめや不登校などに組織的かつ適切に対処している」「学校は、特別支援学級担当による通常学級での障がい者理解授業や行事などの交流学习を通して相互に関わりがもてるよう配慮している」項目において、保護者、生徒とも肯定的回答が低く、「無回答・わからない」が30%近くとなりました。こうした集計結果や皆様方のご意見や要望を踏まえ、次年度については、以下のことに取り組んでいきます。

- (1) 学習方法についてのアドバイスや宿題の出し方など家庭学習のあり方について検討する。
- (2) いじめや・不登校などの対応について学校の取組を周知し協力と理解を深める。
- (3) 生徒個々の特性に対して理解を一層深め、特別支援教育の視点を踏まえた共同学習を推進する。

今後も生徒が充実した学校生活を送ることができるよう努力してまいりますので、ご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。